

Step 2 単元（題材）の構想を練る



単元（題材）の構想を練るとは、何をすればよいですか？

単元（題材）の構想を練る際には、この単元における児童生徒の「育成を目指す資質・能力」は何かを考えながら、以下の内容を検討します。



- ・ 単元（題材）の目標を考える
- ・ 単元（題材）の評価規準を考える
- ・ 設定した単元（題材）の目標と評価規準の整理をする
- ・ 単元（題材）の個別の目標を考える
- ・ 単元（題材）の個別の評価規準を考える
- ・ 単元（題材）計画を考える

目標の設定では、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」の各教科の各段階の目標及び内容を参考に設定します。外国語は教科の目標（英語を指導する場合は教科の目標及び内容）を参考に設定します。特別支援学級で、小学校（中学校）の内容を行っている場合は、小学校（中学校）学習指導要領の各教科の目標及び内容を参考に設定します。

目標と評価規準の設定について、もっと詳しく知りたい場合は、p. 2-36～p. 2-45 を是非読んでください。

単元（題材）の目標を考える

単元（題材）の目標は、育成を目指す資質・能力の三つの柱で設定します。ただし、「学びに向かう力、人間性等」については学習指導要領に内容が示されていないものが多いので、その場合は、該当段階の「学びに向かう力、人間性等」の目標を参考に作成します。

単元（題材）の目標の表記

観点別目標	文末例
知識及び技能	～ができる。分かる。 理解する。身に付ける。 等
思考力、判断力、表現力等	～ができる。考える。 広げる。 等
学びに向かう力、人間性等	～しようとする。親しむ。 豊かにする。 等

〔参考〕文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』、文部科学省「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」〕

特別支援学校、特別支援学級では、同じ学年であってもそれぞれの児童生徒に見合う教科の目標及び内容の段階が異なることがあります。単元の目標を設定する場合は、多くの児童生徒に対応できる目標を設定します。集団の平均になりそうな段階の指導内容を基に考えると、様々な段階の児童に対応しやすいです。

